## 消費者行政の 更なる推進を!

考えなのか、 のような防止策を講じていく いる。今後、市としては、ど おいて詐欺被害も報告されて る相談が多く、市内に 近年、消費生活に関す

億3千99万円にも上る。 23件発生し、被害総額は約1 年5月末日までの間に市内で 年々、特殊詐欺の手口は悪 平成24年1月から平成27 オレオレ詐欺や架空請 求詐欺などの特殊詐欺

どの機会を捉えて、警察や防 道に続けていきたい。 難しいのが現状である。 バイザーによる呼びかけを地 による啓発活動に取り組むほ 犯協会など関係機関との連携 帰するところが大きいことか 抑止も市民一人一人の意識に しかしながら、特殊詐欺の 今後も会合やイベントな 市の高齢者交通安全アド

## 大規模自然災害に備えて 消防力の強化を!

つもりなのか。

思うが、どのように対応する 全面からも更新が急がれると いる消防車両については、安

防力を向上させることが喫竪 が求められており、警防・救 る南海トラフ巨大地震など、 条市消防力適正配置調査報告 助・救急体制の整備など、 大規模自然災害に備えた対応 に総括しているのか。 調査結果について、どのよう 書が配付されたが、報告書の た中、平成27年5月26日に西 の課題となっている。こうし 問 将来、発生が予測され 近年の集中豪雨や近い



はしご付消防自動車

車のみを配置する出張所への 連携強化の必要性や救急自動 消防について署所間における 現況の課題を把握するととも いての提言がなされた。 消防ポンプ自動車の配置につ 課題の改善に向け、常備 調査により、消防力の 西条市消防力適正配置

る提言がなされた。 車の配置や非常備消防に関す そのほか、はしご付消防自動 進の検討が望ましいとされた。 から、署所再配置や消防力増 果がじゅうぶんではないこと れたほか、東予地域において を整備する必要性が高いとさ 災害対応能力を持つ防災拠点 壊によって地域が分断される まれた地域は、橋りょうの崩 危険性を考慮し、より高度な また、加茂川と中山川に挟 常備消防力による消防効

欺を完全に封じ込めることは うな対策を講じても、特殊詐 質・巧妙化しており、どのよ

的かつ高い消防サービスを提 供する消防体制の構築を進め これらの提言は、 より効率

のか。

識しており、順次、 る上で重要な事項であると認 いと考えている。

る。そのため、短期的には、 の消防ポンプ自動車の配置な 特殊車両の再配置と出張所へ 中長期的には、東消防署への はしご付消防自動車1台体制 可能であるとの評価を得てい められる基準を満たすことが 物の棟数や分布の状況から、 今回の調査では、中高層建築 早急に更新を検討しなければ 合でも消防力の整備指針で求 自動車1台のみで運用した場 東消防署配備のはしご付消防 ならない状況である。しかし はしご付消防ポンプ自動車は 西消防署に配備している屈折 た代替車両の整備を検討し、 への移行と費用対効果に優れ 消防車両の更新について、

を付けて対応したい。 更新整備を勘案し、 からも更新が求められている えた車両が多くあり、 両については、更新時期を迎 が、地域間の平準化や質の向 上を図るとともに、 また、非常備消防の配備車 優先順位 施設面の 運用面

検討した

また、更新時期が超過して

どを総合的に検討したいと考 えている。

合併後10年の検証

する市民アンケートや愛媛県 問 1 は、まちづくりに関 「合併後10年の検証 合併後10年の検証を

どう生かす?

うに捉えているのか。 るが、この検証結果をどのよ 合併効果を検証したものであ する住民アンケートを基に、 と連携して実施した合併に関 にどのように取り組んでいく 課題について、今後、 また、検証により得られた 具体的